

「西田先生が総裁・総理大臣になったら何を公約に掲げますか？」

平成30年8月8日

●マツさんからの質問

ズバリ、西田先生が総裁・総理大臣になったら何を公約に掲げますか？

●西田昌司の答え

これまでに考えたこともありませんし、私が総理大臣になることはありませんが、ここでちょっと考えてみましょう。

私は安倍総理の考えに共感できる部分がたくさんありますし、安倍総理のおっしゃる「瑞穂の国の資本主義」という言葉に込められているような日本人としての生き方・価値観・幸福観を私も問いたく思います。

日本人は日本人としてしか生きられません。我々日本人が何をもって幸福を感じるかと考えると、かつて、時代の寵児が「人の心はお金で買える」と言い放ったように金銭にその価値を認める人もいるでしょう。しかし、大概の日本人はそのような拝金主義には毒されていないものです。我々日本人は、日本人としての心が満たされた時に幸福を感じられるのではないのでしょうか。

そのように考えると、では日本人として生きるための条件は何かという問いが次に浮かんできます。外国人であっても条件が満たされれば日本国籍を取得することはできますが、そういった法律上の話ではなく、日本人になるとは一体何を意味するのかと考えると、これはなかなか難しい問いではありますが、私は次のように考えています。

我々は日本人の子孫であるからこそ日本人なのですが、我々の先祖が何を大切に何を考えて生きてきたのかということに思いを馳せてみると、そういった先祖の思いを引き継いでこれから生まれる子孫に伝えんとする気構えを持つことが日本人としての条件なのではないかと思います。そして、自分がそのような責務をしっかりと果たしていると実感できる時こそが日本人としての至福の時なのではないでしょうか。そのような幸福感と比べると、ちょっと商売で成功してお金を稼げたといったような話は次元の低いちっぽけな話に聞こえてしまいます。

私がもしも総理大臣になるとするならば、先祖と子孫の間の橋渡しをしっかりとしながら日本人が日本人らしく生きられるような国にしたい、とでも言うのだと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>